

# 環境 にっこう

KANKYO NIKKO

No.16

2013/4

発行 日光市役所産業環境部環境課  
〒321-1292  
今市本町1番地(本庁第4庁舎1階)  
TEL 21-5152 FAX 21-2089  
Eメール kankyou@city.nikko.lg.jp



環境を守る取り組みを応援しています！

## 家庭向けの補助金をご存知ですか？

市では地球温暖化防止へ貢献するとともに循環型社会の実現に向けて様々な事業に取り組んでいます。今回は家庭向けの補助金についてお知らせします。

### 電気自動車等充電用コンセント

EV(電気自動車)・PHV(プラグインハイブリッド車)の普及を推進するため、充電用コンセント設置費用の一部を助成します。

※設置工事前に申請が必要です。



### 対象者

市内に住む個人・法人で、次の条件を満たす方

- ①EV・PHVを新たに取得・リースし、充電設備を設置する方
- ②市税及び公共料金に滞納がない方

### 補助の金額

自動車用200V充電コンセントの設置工事費の2分の1(上限5万円)

### 豆知識

EVの電気代はガソリン代の約1~3割。減速時にはエネルギーを回収するので経済的です。また、走行中に二酸化炭素を排出しないので温暖化の防止にもつながります。

環境課

### 補助の金額

1kw当たり3万円(上限12万円)

環境課

廃棄物対策課  
21-5152

### 住宅用太陽光発電システム



太陽光エネルギーの利用を推進するため、発電システム設置費用の一部を助成します。

※申請については、事前にご相談ください。

※申請については、事前にご相談ください。

### 対象者

①自ら居住する市内の住宅に太陽光発電システムを設置する方

- ②設置が完了した市内の住宅を自ら居住するため購入する方

※①②どちらも市税及び公共料金に滞納がないことが条件です。

### 利用者の声

- ・キッチン周りがきれいになり、においもほとんど無くなつた。
- ・ごみが驚くほど軽くなり、ごみ出しのストレスが無くなつた。
- ・簡単に肥料ができた。

### 廃棄物対策課

補助金の申請書は、各課窓口で配布のほか、ホームページからもダウンロードできます。ぜひご活用ください。

詳しくは 環境課 21-5152

### 機械式処理機 対象機器と補助の金額



購入費の2分の1(上限3万円)

※申請については、事前にご相談ください。

家庭用生ごみ処理機・コンポスト容器の購入に対しても、補助金を交付しています。  
※購入前に申請が必要です。



### 家庭用生ごみ処理機器

# にっこり冬の“うちエコ”運動 結果発表

冬の節電対策として、1月から3月にかけて実施した「にっこり冬の“うちエコ”運動」。例年以上に厳しい寒さの中、参加した多くのご家族が電気量の削減に成功しました。各部門の結果や参加者の取り組み内容を紹介します。

## “うちエコ”運動の概要

毎日の生活の中、特に平日9時～21時の間、無理のない範囲で節電に取り組んでもらいました。数値は、1月分の「電力使用量のお知らせ」をもとに算出しています。

### 参加総数

## 28世帯76人 各部門の上位3家族を紹介します。

### 削減部門(昨年比の電力量減少率)

順位	削減率	参加者
1	74.48%	今市在住の2人家族
2	44.16%	吉沢在住の2人家族
3	41.67%	土沢在住の3人家族

※参加者の平均は17.27%でした。

### エコライフ部門(一人一日当たりの電気消費量)

順位	消費量	参加者
1	1.28kwh	土沢在住の2人家族
2	1.85kwh	土沢在住の4人家族
3	2.18kwh	倉ヶ崎在住の2人家族

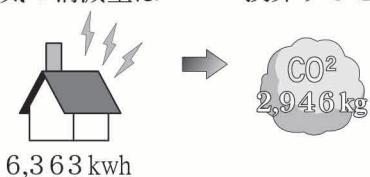
※参加者の平均は6.51kwhでした。

## 取り組みの効果

今回の運動における  
電気の消減量は

二酸化炭素に  
換算すると

これは、スギの木207本が  
1年間に吸収する量に匹敵  
します。



6,363kwh

## 参加者の取り組み内容

- 暖房器具(エアコン・ファンヒーター等)の温度を下げる、固定する。
- コタツの掛布団や敷布団を暖かいものに替える、枚数を増やす。
- 電気ポットや炊飯器の保温をやめる。
- L E Dや太陽光発電、省エネ商品を導入する。
- 家族が1つの部屋に集まって過ごす。

募集対象 活動内容

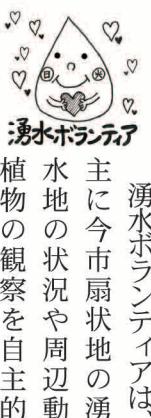
湧水ボランティアは、主に今市扇状地の湧水地の状況や周辺動植物の観察を自主的にに行っているグループです。

現在40名の会員が、四季折々の自然を感じ、皆さん楽しみながら活動をしています。また、研修会などで習得した知識を生かし環境保全に関する取り組みに参加・協力しています。

年4回の湧水地調査(6月・9月・12月・3月)、研修会等

湧水ボランティアは、主に今市扇状地の湧水地の状況や周辺動植物の観察を自主的にに行っているグループです。

現在40名の会員が、四季折々の自然を感じ、皆さん楽しみながら活動をしています。また、研修会などで習得した知識を生かし環境保全に関する取り組みに参加・協力しています。



身近な自然環境を守りませんか?

最新の環境情報を届けます

## 湧水ボランティア

## 環境メール発信事業の登録について



夏の節電対策として、5月中旬に緑のカーテン作り方講座を行います。定員は30名で、参加者には、ゴーヤの苗をプレゼントします。  
詳しくは、広報につこう5月号でお知らせします。

近年、自治体だけではなく事業所にも環境に配慮した取組みが求められています。市では、国や県から届く役立つ環境情報(補助金・セミナー・認証制度・環境政策の動向などを整理し、メールにて発信しています)。

※登録を希望する場合は、件名を「環境メール登録」、本文に会社名・ご担当者所属・氏名・電話番号・FAX番号を記入の上、環境課へメール又はFAXで申し込みください。



募集しています



ピーエム

# 栃木県でもPM2.5の予測を開始

国の指針値(70 μg)を越えると予想されると“注意喚起”が発せられます。

栃木県では、3月8日からPM2.5の予測を開始し、基準を越えると“注意喚起”が発せられます。

県内でPM2.5を監視する測定局のうち、午前5・6・7時の測定値の平均値が1局でも1時間あたり85マイクログラム(μg)を上回った場合、県全域に「注意喚起」が発せられます。

※日光市内では、今市小学校で測定しています。

## “注意喚起”があった時には

- ・不要不急の外出を控えましょう。
- ・屋外での長時間の激しい運動を控えましょう。
- ・室内においても換気や窓の開閉を必要最低限にしましょう。
- ・呼吸器系等の疾患のある方、子供、高齢者等はより慎重に行動しましょう。

詳しくは、日光市のホームページ「暮らしのガイド(生活・環境)」をご覧ください。大気汚染物質濃度は、栃木県ホームページ「とちぎの青空」にてご覧いただけます。

**日光市ホームページ 「暮らしのガイド(生活・環境)」**

→<http://www.city.nikko.lg.jp/kankyou/guide/seikatsu/sumoggu/index.html>



# 野焼きは禁止されています



家庭等において、コンクリートブロック積みやドラム缶、地面に掘った穴で、ごみを燃やすことはできません。

「近所でごみを燃やしていて、煙や臭いが出て大変迷惑している」といった苦情が多く寄せられています。野焼きは、火災の原因や煙・悪臭が布団や洗濯物につくなどの周辺住民への迷惑になるだけでなく、有害物質の発生原因となることもあるため法律で禁止されており、罰せられることもあります。

家庭から出る木の枝・落ち葉・ごみは『ごみの分け方と出し方』をご確認のうえ適切に処理してください。



# 騒音マナーを守りましょう

あなたのその音、だいじょうぶですか？人は人との関わりの中で暮らしています。自分の出した音が、まわりの人に迷惑をかけていることもあります。皆さんのちょっとした気づかい・気くばりで、やさしい音環境をつくりだしましょう。

1. 時間帯に配慮しましょう。
2. 音がもれない工夫をしましょう。
3. 音を小さくする工夫をしましょう。
4. 音の小さい機器を選びましょう。
5. ご近所とのおつきあいを大切にしましょう。



静かな時間を貴方に  
～互いの思いやりで  
騒音のない社会を～

# ～今日からはじめる～ 生ごみダイエット

毎日の生活の中で発生する生ごみ。日光市の家庭ごみの5割近くを占めるのが生ごみなのを知っていますか？ 生ごみは、腐敗して悪臭の原因となったり、ごみステーションでカラスに荒らされたり、収集や焼却の際に多くの燃料が必要になるなど、ごみの中でも特にやっかい者です。ここでは、ご家庭で誰でも簡単にできる生ごみ減量の方法を紹介します。

## 生ごみ減量の3ステップ

### ステップ1 生ごみを出さない工夫をしよう。

安いから買ってはみたものの、結局食べ切れず捨ててしまった、という経験はありませんか。買い物に行く前に、冷蔵庫にある食品をチェックする習慣を身に付けましょう。また、野菜くずを捨てずに調理したり、食べ残しを別の料理に生まれ変わらせたりすることで、生ごみだけでなく、無駄な出費も減らせます。「不要なものを買わない」これは、生ごみの減量に限らず、ごみ減量の基本的な取組みです。



### ステップ2 生ごみの水分を減らそう。

生ごみの約80%が水分であり、その水分が、悪臭や環境負荷などの原因です。生ごみを捨てる前に水きりネットなどを利用し、十分に水分を切りましょう。手や水切り器で“ギューッ”と絞るだけでも、水分を約10分の1減らすことができます。

その他、野菜や果物の皮を剥いてから洗うようにしたり、お茶殻やコーヒーかすなどを乾燥させてから捨てるようしたりすることも、水分を減らす有効な手段です。



### ステップ3 生ごみを堆肥化しよう。

通常は燃えるごみとして焼却処分している生ごみですが、堆肥にすることで、土壌を豊かにする資源としてリサイクルすることができます。市販の生ごみ処理機を利用すれば、簡単に生ごみを堆肥にすることができます。また、乾燥させることで量や重さを減らすことができる機械式のタイプもあります。みなさんも生ごみ処理機を利用して、堆肥化・減量化に取り組んでみましょう。(補助制度については1ページ目をご覧ください)



詳しくは： 廃棄物対策課 【TEL】21-5138

